優　秀
チャレンジ賞

CHALLENGE SHEET NO.2

県職員の、県職員による、県民のためのサービス向上運動
Saitama Pref. 3S Challenge 2004
埼玉県3Sチャレンジ

越谷県土整備事務所『ニーズの先取りによる、安全で安心できる道路(歩道)等の創出』

運動のねらい

利用者の目線(スピリット)で道路(歩道)等を点検
把握した危険箇所を迅速(スピード)に解消
県民の安全と安心(スマイル)を確保

真の県民サービスへ

S1 S2 S3 ＋ T U V

職員の意識改革を

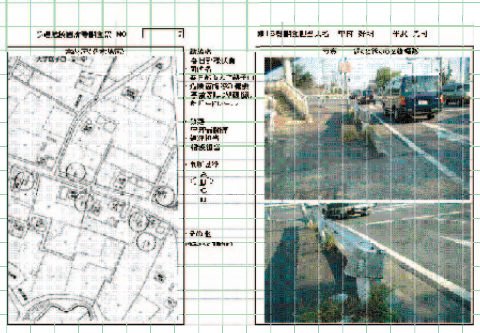
県民の信頼(トラスト)を得るため
誰にも優しい(ユニバーサル)空間を
価値(バリュー)ある予算執行で実施

具体的な取組

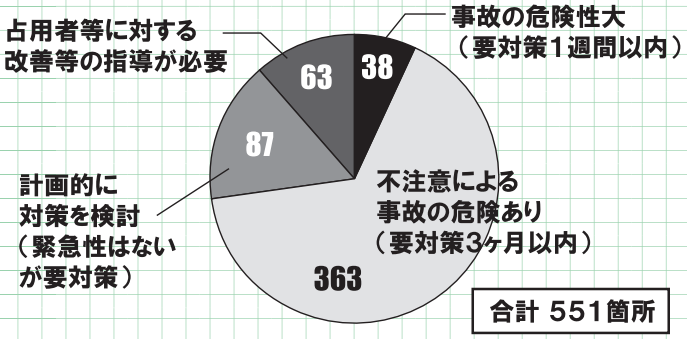
利用者の視点に立った道路・河川点検による危険箇所等の把握とその解消

① 点検マニュアルの策定
② 全職員の徒歩によるパトロールの実施（2004.6～11　　26路線 214km・3河川 23km）

③ 危険箇所等の把握



調査票を作成



④ 危険箇所等の解消・予算化に向けた取組(修繕実例)

修繕前

修繕後

修繕前

修繕後

取組の要点

points

1 利用者の目線で道路を考えてみる

案外危険箇所が多かったことに気づく → 点検が必要

2 点検マニュアルの策定

3 職員全員で徒歩による危険箇所調査

6月から11月 26路線・214km、3河川・23kmで実施

4 調査内容を調査票に取りまとめ

地図・写真を使い危険箇所を明示 危険性に基づき4段階評価

5 危険緊急度に応じ対策

A:すぐに直す B:3か月程度で直す C:計画的に対応(予算措置含む)
D:占用者等を改善指導

6 顧客満足達成意識の醸成

全職員に利用者に役立っているという意識の芽生え

ここが使える！参考にして明日からでもできるところ

challenge!

◎ 全職員による取組
◎ 危険箇所調査の実施
◎ 調査に基づく即時対応

message from challenger

～越谷県土整備事務所からメッセージ～

この度の受賞は思いがけないことでした。そして、本来業務である歩道や河川の点検といった「コロンブスの卵」的な取組に対して評価いただけたことを、大変嬉しく思っています。

今回の取組では3つポイントがありました。①利用者の目線に立ち、目的意識を明確にして具体的な成果を出せたこと。②全職員が共通の目的や目標に向かって真摯に取り組んだこと。③取組の過程で職場の一体感が生まれ、日常業務においても職員の意識改革が図られたこと、だと思います。

初企画のチャレンジ賞を受賞できたことは全職員にとって大きな励みとなりました。これからも越谷県土整備事務所職員一同は心を新たにして、県民サービスの向上に努めてまいります。